



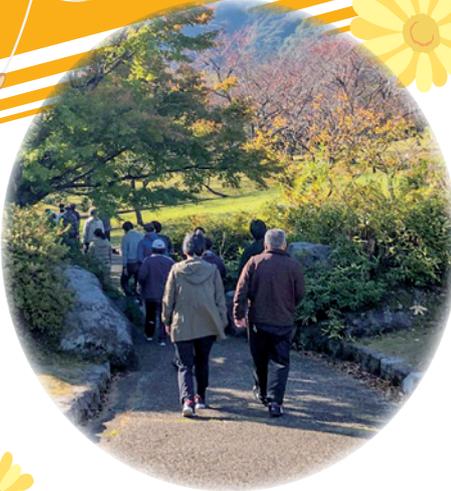
# DEN

No.27

2021.5.24  
発行

作業療法を伝える  
NEWS&COMMUNICATION

公益社団法人 大分県作業療法協会 広報誌



## 心豊かに作業療法

**CONTENTS** - テーマ: 地域包括ケアシステムにおける作業療法～障害者編～

**1** 教えて! 作業療法 -1  
「地域包括ケアシステムの構築を目指して」  
～地域共生社会の実現に向けて～

**2** まんが作業療法物語  
～知的障害のある人の地域生活支援編～

**7** 教えて! 作業療法 -2  
「なぜ精神障害者に対応した地域包括ケアシステムが重要か?」

**8** 施設紹介: ● 鶴見台病院 ● 訪問看護ステーションりぼん

**10** トピックス  
「新型コロナウイルスによる生活不活発病予防」

**11** 作業療法一日体験 ～高校生が作業療法を体験～

**13** 以心 DEN 心

**14** 活動報告



# 教えて！ 作業療法

その1

## 地域包括ケアシステムの構築を目指して ～地域共生社会の実現に向けて～

精神障害、知的障害、発達障害などの障害を持つ方たちが安心して自分らしく地域で生活を送るためには、**住まい、医療、障害福祉・介護、相談窓口、社会参加・地域の助け合い・教育**が包括的に確保される地域包括ケアシステムを目指す必要があります。

### 医療

心身の不調がある際には医療機関への受診が必要です。住まいへ訪問に来てくれる往診や訪問看護もあります。



### 障害福祉・介護

生活能力が低い方に対し訓練を行う施設や、住まいへ訪問し生活の支援を行うサービスが必要です。



### 住まい(自宅、グループホームなど)

一人暮らしが困難な方や、事情があって家族と一緒に暮らせない方でも安心して生活できる住まいが必要です。



住まいを中心に様々なサービスが包括的に行われる地域づくりが大切なんだ。



### さまざまな相談窓口

困り事があれば相談することができる相談窓口が必要です。  
(精神保健福祉センター、発達障害者支援センター、保健所、ハローワーク、市町村障害福祉担当課など)



### 社会参加の場や地域の助け合い

企業、ピア・サポート活動、自治会、ボランティアなどへの普及・啓発活動が必要です。



作業療法士は、障害者が地域で生活していくために必要な日常生活能力、対人技能、職業能力などの獲得を目指し支援を行います。生活支援のプロフェッショナルである作業療法士が障害福祉・介護、就労、教育など地域のあらゆる現場で、他職種と円滑に連携し支援しています。

# まんが 作業療法物語

## 知的障害のある人の地域生活支援編

50代の女性A美さんは、父と二人暮らしで、自宅での引きこもり状態が20年近く続いています



そんな中、家事全般を担い、A美さんをサポートしてきた父が、加齢に伴い認知機能や身体機能が衰え、介助が必要な状態となり、介護施設へ入所することになりました

今までは父さんと  
なんとか暮らせていたけど、  
A美一人で  
暮らしていくのは心配だな…



A美さんは地域の小学校、中学校に通いましたが、勉強も運動も全般的に苦手でした

また理解力が乏しく、おとなしい性格のため友人はできませんでした

中学卒業後は地元の縫製工場で勤務しましたが、仕事の覚えが悪く、先輩や同僚から叱られ、徐々に出勤できなくなり、在宅で家事手伝いをしながら父と二人で生活していました



こういった事情で  
A美が一人暮らしを  
するのは難しいと  
考えています

兄は障害者相談支援センターに  
相談することになりました

A美さんのご様子を  
専門機関に見てもらい、  
相談してみましょう

相談員

A美さんと相談員は専門機関を訪れ診察を受けました



A美さんのIQは65です  
自炊や整容、入浴、金銭管理等の  
日常生活に見守りが必要と考えられます

A美さんは支援を受ければ、十分在宅生活を送れますよ  
まずは、デイケアに通いながら支援環境を整えていきましょう

精神科デイケアで作業療法士をしている療子は、  
A美さんの在宅生活をマネジメントするため、  
多職種を交えた支援会議に参加することになりました



デイケアでは、まず現在のくらのことが  
できているのが生活場面の評価をしていきます  
同時に少しでも一人でできるように  
自宅でも練習していきましょう



看護師

ヘルパー

実際に自宅で家事をする際は、  
ヘルパーさんに見守りをしてもらいます  
また、そのときの様子を  
デイケアのみなさんにもご報告しますね



A美さんがどのような方なのか、療子は日ごろの生活の様子を聞くことにしました

…まわりの…  
めが…こわい…

会話が途中で途切れたり、  
声量が小さかったり、不安も高そう  
気持ちを伝えるのが苦手なんだ

金銭管理と物の  
整理整頓ができていない  
指示をその都度もらわないと  
料理も難しそうだなあ  
生活環境も心配だ

担当者会議で、A美さんの生活上の課題を抽出しました

- ・周囲からの目を気にしすぎて不安が強く、コミュニケーションが図りにくい  
(声量が小さかったり、途中で言葉が途切れる)
- ・金銭や物品管理ができておらず、部屋は散乱している
- ・過去に父親と料理はしていたが、すべて父の指示のもとに行っていたため、一人では味付けや火加減などが難しい
- ・以前は父親と一緒に2km先のスーパーまで歩いて買い物に行っていた



まずは、金銭管理と3食を  
どのようにして担保するかが重要だなあ  
サービスを利用して環境調整することで  
自宅でも暮らせそう

金銭管理については  
※あんしんサポートを  
利用してみてはどうでしょうか？

まずは一週間の献立を立ててみましょう  
それから必要な食材の  
買い出しに行くのはどうでしょうか

デイケアでは、料理の工程表を見て、  
味付けや火加減など  
一人で調理できるよう練習しますね

※あんしんサポートとは？ 高齢者や知的・精神障害のある方に対し、日常生活に必要な手帳やお金の出し入れ書類のお預かりなどをサポートし、在宅での自立した生活を促すためのサービスを指しています。

デイケアの個室

今月は  
どうでしょうか？

デイケアでは、療子と一緒に家計簿の確認を行いました



貼っているとこが  
ごちゃごちゃに  
なっちゃって…

一週間分をまとめて  
貼り付けてみましょうか



精神科デイケア

調理訓練でカレーを作ることになりました

調理師

カレーは  
どうでしょうか

昔、ジャガイモを  
生煮えのまま  
出してしまった  
ことがあって…



このような工程表を  
確認しながら  
行うのはどうでしょう

タイマーを使って火加減を  
確認していきましょう！  
竹串を刺して火が通っているか  
確かめるのも良いでしょう



今回は、工程表の導入と、  
タイマーを使いながら時間管理をしていくことになりました

次はタイマーを  
セットして煮詰めて  
いきましょ

ここを押して  
…と

タイマーを止めて  
確認してみましょう！

もう3分程煮て  
みましょうか

少し硬いかも  
しれません



A美さんは療子と調理師さんの指導のもと、  
美味しいカレーを作ることができました





デイケアでは声掛けにて家計簿の整理や献立の作成、  
また工程表を用いて調理ができるようになりました

そのため、療子はヘルパーにA美さんのできることや、  
動作の手順や声かけの方法などを書いた連絡帳を渡し、  
自宅での練習を依頼しました

こういう風に  
したらできるんですね  
やってみよう！

では、A美さん、実際に  
家計簿と一緒に書いて  
1週間分の献立を考えてみましょう

はい…  
お願いします…

1週間後、療子は、ヘルパーとの練習でできていたことと気になることを連絡帳で確認し、  
A美さんと一緒に実際の作業を確認しながら、次のステップに向けて話し合いを行いました



家計簿をつけると  
お金をどれくらい使ったか、  
分かるから良いです  
お金をたくさん  
使わないように、献立を考えます

とても見やすくなりましたね  
少しシートが  
貼れていないところもあるようですから  
家計簿と一緒に見直してみましょう！

料理はどうですか？  
上手くできていますか？

料理しました  
味が少し濃かった  
タイマーを忘れて…  
野菜も…もう少し焼けてたら  
よかったかなあ…

それではもう一度  
工程表を見直していきましょう

時間はゆっくりでいいので  
焦らずにタイマーも  
使えるようになるといいですよ

療子はA美さんとの話し合いの結果をヘルパーに伝え、  
さらに一人でできることが増えるように支援をお願いしました



次は外に出かけるときに  
お化粧もしては  
どうですか？

あと掃除なども  
できるといいですよ  
ゆっくりで大丈夫ですので  
一緒にやってみませんか？

はい…自信は  
ないですが…  
やってみたいな…

少しずつですが自宅の掃除や  
外出時に化粧ができるようになりました

デイケアでお化粧を  
練習したそうですね  
上手にお化粧できていて、  
とってもきれいよ

担当者会議

再度、担当者会議で多職種での話し合いを行いました  
会議では、これまでのA美さんが取り組んできたことやその成果を参加者全員で共有しました

色々手伝ってもらって、  
できることが増えました！

できることが増えていて、  
とても驚きました  
A美も父と一緒に施設で  
生活していくしかないのかと  
悩んでいましたが、  
家で生活していけそうです

よかったです！  
一つできることが増えると、  
また次の目標ができてますね  
これからもどんどんいろんなことに  
チャレンジしていきましょうね

最近、お仕事も  
チャレンジしてみたいねと  
話していますよ

ヘルパーやあんしんサポートの支援を受けながらですが、1週間分のお金の管理や、  
メニューを自分で考えることができ、買い物へ1人で行けるようになりました

※1  
また、福祉的就労にもつながり、毎日清掃業務を頑張っています  
最近では、その工賃で洋服やコスメなど自分磨きにも取り組んでいます

その洋服、  
動きやすそうだし素敵！  
お化粧品我慢したのね

すごい！

この化粧品も欲しかったけど  
まだお金がたまってないから

また楽しみが増えたわね  
お仕事頑張りましょ

作業療法士は、本人や家族の思いを尊重しながら、  
対象者の能力をアセスメントし、  
最大限の力を発揮し自立した生活を営めるようサポートします

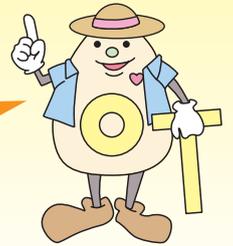
直接的なアプローチだけでなく、得意・不得意を含めた支援方法を、  
直接支援する家族や地域の支援者に提案し、よりよい地域生活が行えるようバトンタッチしていきます

おわり

※1 福祉的就労とは…心身に障害があり、一般企業で働くことが難しい場合など、一般就労に向けた支援を受けながら働けるというものです。

# 教えて！ 作業療法 その2

このページでは障害者の地域包括ケアシステムの構築において、特に地域生活が困難となっている精神障害のある方たちの支援について説明していくよ。



## なぜ精神障害者に対応した地域包括ケアシステムが重要か？

- 1 精神疾患による入院患者の在院期間は、1年以上が約17万人、うち5年以上が約9万人である。  
(平成29年 精神・障害保健課調べより)



現在、日本における一般の病院での平均入院日数は16日(2019、厚労省調べ)なんだ。地域による差はあるけど、精神疾患による入院日数がいかに長いかが分かるね。

- 2 1年半以上の長期入院者のうち14%は「退院可能」とされている。退院困難とされた者のうち、3分の1は、居住支援がないため退院が困難とされている。  
(平成24年厚生労働科学研究費補助金 障害者総合対策事業より)

- 3 長期間、精神科病棟に入院する患者の約1/2が、在宅支援体制が整えば退院可能とされている。  
(平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査より)



症状が改善しても、退院して生活する場所がなくて困っている人や、自宅があっても一人で生活することが難しい人、何らかの理由で家族と生活できない人などが様々な要因があるんだ。じゃあ生活する場所さえあれば何とかできるのかな？

- 4 精神病院からの退院者の約4割が1年以内に再入院している。精神障害者の多くが必要な地域サービスを十分利用できていない。  
(平成29年精神保健福祉資料より)



住む場所の確保も大事だけど、地域で生活していくための支援も十分に整っていないんだ。退院しても、引き続き治療を継続することや、各種サービスや地域住民からの支援を受け、社会参加につなげることができる地域包括ケアシステムが大事なんだ。



次のページでは、大分県で精神障害者の地域包括ケアシステムに携わっている作業療法士を紹介するよ。具体的にはどんな仕事をしているんだろう？

## 医療法人哲世会 鶴見台病院

所在地：〒874-0838 大分県別府市大字鶴見4075-4  
TEL 0977-22-0336

診療科目：精神科、心療内科、内科

対象疾患(入院中の患者構成)：

統合失調症(61%：98名)、気分障害(21%：34名)、  
統合失調感情障害(4%：7名)、アルコール依存症(5%：9名)

病棟構成：精神療養病棟(開放：60床)、精神療養病棟(閉鎖：60床)、  
一般精神病棟(開放及び閉鎖：40床) 合計160床

精神科作業療法スタッフ：

作業療法士 3名、アシスタント 2名

関連施設：精神科デイケア・ショートケア(大規模)、  
地域活動支援センター(カフェ・マインドつるみ台)  
共同生活援助事業所(グループホームつるみ台)



施設外観



作業療法室スタッフ

### 施設紹介

鶴見台病院は昭和36年、別府市鶴見に開設された精神科病院で、精神科作業療法は平成20年5月から開始されました。現在、3名の作業療法士で精神機能の回復を目的とした室内作業(内職作業)、手工芸や脳トレなどの余暇利用訓練としての同一目的を持たないグループ活動、身体機能維持や改善を目的とした体操、スポーツグループ、農耕や散歩などのプログラムを実施しています。また、デイケアへ定期的に出向し、プログラムも行っていきます。



個別作業療法

### 地域包括ケアシステム(退院支援)への取り組み

当院の退院支援の取り組みとして、平成25～26年度に高齢入院患者地域支援事業を実施しました。これは60歳以上の入院患者(主診断名が統合失調症)に特化した退院支援です。また、平成29年度(H29.4)～令和元年度(R2.3)に長期入院患者地域移行支援強化事業を実施しました。いずれも大分県の委託事業で、県の福祉課職員、管轄保健所職員と地域の関係者、院内の多職種からなるチームで退院支援を行うもので、後者はその後のフォローアップ会議を現在も継続しています。

これらを通して地域で対象者を直接支える人たちと何度もお会いし、情報交換する中で徐々にお互いを知り合うことができたことが最大の収穫だと感じています。地域で生活する人としての対象者の揺らぎ(体調や精神状態)とどう折り合いをつけながら支えるのか、情報交換の在り方や役割分担などを退院前に調整しておくことが重要でした。院内と生活の場でのルールや対処の違いに対して、入院中からどのくらい準備や練習ができるかということも大切になると思います。

今後の課題としては、現在のプログラムにおいて保護的な部分と実際の生活場面に近づける部分のバランス調整を行うこと、そして、せっかくできたこのネットワークをいかにしてメンテナンスし、使えるネットワークとして維持し続けていくかということです。その為に、院内だけではなくいろいろな場に出ていくことが必要だと感じています。



散歩



記事担当者/山本 正修



# 訪問看護ステーション りぼん

所在地：〒870-1114 大分県大分市星和台1丁目15番22号  
TEL 097-574-7220

対象疾患：統合失調症、うつ病、双極性障害、気分障害(パニック、不安)、社交恐怖症、強迫性障害、解離性障害、てんかん、依存症(アルコール、ギャンブル)、ADHD、自閉症、認知症(若年性認知症含む)、高次脳障害、難病

登録人数：132名

職員数：看護師(9名)、作業療法士(1名)、事務員(1名)

## 法人理念

利用者が安全で安心して自由と絆のある場所で自分らしく生活が出来るように支援します

## 関連施設

就労継続支援B型事業所 ぱれっと

## 施設紹介

りぼんは精神に特化した訪問看護ステーションで大分市内の精神科病院・クリニック等のドクターの指示で訪問看護を実施しています。精神に障害を持つ方が地域社会で生活していくことは決して容易いことではなく、その方に合わせた多くの支援が必要となります。通院治療を続けながら日常生活の中で起こる様々な問題を共に考え、分かち合い、支えながら本人や家族が地域で安心して安全に自分らしく生活が出来るように支援をしています。

## 地域包括ケアシステムへの取り組み

生活が出来るに目を向けて、病院、相談支援員(ケアマネ)、ヘルパー、作業所、グループホーム、保健所、市役所等との連携を図り退院前会議や各種担当者会議には積極的に参加し利用者一人ひとりに合った生活、支援の検討を行っています。

思いに寄り添い、よりよい生活に向けた支援に関われることは作業療法士としてやりがいを感じています。しかしこれまで多くの方と関わってきて感じることは地域にはまだまだ独りで悩みを抱え、誰にも頼れず苦しんでいる人が沢山居ること。教育の現場、小児・高齢者支援の現場、保健所等からの情報提供や連携でひとりでも多くの人を発見し、関わり、心を開かせ医療や福祉に繋げていくことが重要な課題です。地域の中にあるりぼんが精神のみでなく障害を越えて多くの方が気軽に集える、つながる拠点となっていけることを目指しています。



施設外観



訪問看護ステーションりぼん スタッフ集合

## 支援の内容

- 思いや訴えの傾聴
- 対人関係・日常生活の支援
- 精神症状の観察 (悪化の早期発見・対応)
- 受診の促し
- 服薬管理・確認
- 家族支援、家族への疾病教育
- 生活環境の調整・整備
- 他機関との連携 (各種会議への参加)
- 就労支援
- 24時間対応体制



高崎山登山



患者様が7年ぶりに書いた絵手紙



仕事の様子を見学



自宅訪問の様子



記事担当者/大江 文子





# 新型コロナウイルスによる生活不活発病予防



新型コロナウイルス流行は、私たちの生活に大きな影響を与えたのではないのでしょうか。

ここでは作業療法士の視点から、生活に及ぼす影響や対策について紹介します。

## 新型コロナウイルス流行による影響

動かない（生活が不活発な）状態が続くと、心身機能が低下します。このような状態を『生活不活発病（廃用症候群）』といいます。生活不活発病になると、疲れやすく歩行が難しくなるなどフレイル（虚弱）が進みます。みなさんもチェックしてみましょう！

あなたは  
大丈夫??

### ☑ フレイルセルフチェック

ひとつでも当てはまれば、フレイル予防に取り組もう！



☐ 6か月間で体重が2～3kg減った



☐ 以前より疲れやすくなった



☐ 外出が減った・人と話すことが減った



☐ ペットボトルのふたが開けにくくなった



☐ 横断歩道を青信号の間に渡りきるのが難しくなった



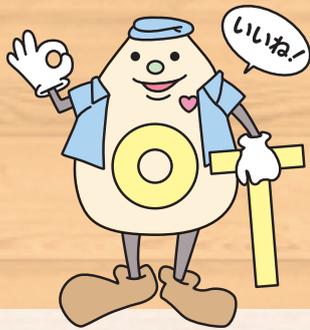
画：児玉隆典(デイサービスセンター)

メッツとは安静座位を1メッツとして、その何倍の酸素消費量にあたるかを示す数値です。

例えば左の図から、モップ掛けや床拭きの作業(3～4メッツ)は、普通の歩行や自転車に乗ることと同等の運動量があるということが分かります。

日ごろ当たり前に行っている家事や買い物などの生活行為が、フレイル予防に効果的なんだよ。





# 作業療法一日体験

＊高校生が作業療法を体験＊

令和2年7・8月に高校生を対象とした作業療法一日体験を実施しました。新型コロナウイルスの影響で実施できるか不安に感じていましたが、29校の高校から過去最高の267名の申し込みをいただき、受け入れについては40施設からご協力をいただきました。

受け入れ施設の数に対し、希望者が多かったため、今回は2、3年生を中心とした130名の高校生に体験をしていただきました。

体験ができなかった高校生に対しては、資料を送付したり、出張授業を行うなど、できる範囲で広報させていただいています。

作業療法を体験した高校生からは「作業療法士がカッコ良かった」「作業療法士の仕事に魅力を感じた」「やりがいがあって楽しそう」といった意見をいただきました。この体験が今後の作業療法士を目指すきっかけになれば幸いです。作業療法の魅力を伝えることで、将来を担う作業療法士の育成に繋がっていきけるよう私たちも努力していきたいと思えます。

## 高校生の感想

人との関わり合いを通して、人を支えていくことができる最前線の仕事だと思いました。



## 高校生の感想

直接利用者の方が生活が送れるような手助けができる仕事で、とてもやりがいがあると思った。



## 高校生の感想

リハビリで出来ることを増やして、一人一人に合わせて対応している職員の方を見てすごかつよかったです。



## 高校生の感想

患者さんの生活を考える作業療法という仕事にとっても魅力を感じました。



# 「作業療法出張授業」

医療法人メディケアアライアンス あおぞら病院  
作業療法士 沼田 武一郎

令和2年11月18日、みえ病院の高木さんとともに県立中津南高校で作業療法出張授業を行いました。将来の進路選択の一つとして作業療法士等の医療関係を目指す2年生を対象に作業療法の魅力や素晴らしさを伝えるために講義を行いました。最初に高木さんから「作業療法士とは」「自身がOTを目指したきっかけ」について、私は「高校生にとっての作業って?」「意味のある作業って?」についてそれぞれ2つのテーマで講義を行いました。具体的に私が作業療法の魅力を感じた4つの事例を通し、その人にとって「必要不可欠な作業」「ずっと大切にしてきた作業」「心が豊かになる作業」「他者からも必要とされる作業」という内容でお話ししました。作業療法士は心身機能の回復だけでなくその先の生活や人生に寄与できる職種であること、また私たち作業療法士は病院、施設だけでなく行政や住民の健康増進などを通じて、「地域」にも必要とされている職種であることも伝えると、高校生から驚きの反応がありました。質問コーナーでは学校選択に関すること、手先が器用ではないのでアクティビティなどができるか不安…などの声が寄せられました。私たちが昔は同じような不安を抱えていたなあと当時のことを思い出しながら和やかな時間となりました。未来を担う高校生に作業療法士の魅力を伝えられた自信はありませんが、作業療法一日体験とは違い、教壇に立つという貴重な経験をさせていただきました。



出張授業の様子(高木OT)



出張授業の様子(沼田OT)



## 受け入れ施設の感想

- 作業療法士になりたいという意思を持って来られている学生が多く、集中して見学していた。
- 高校生は熱心に話を聞き、体験に取り組みされており、利用者も若いパワーもらっていきいきとしており、良い体験になった。
- 集中して話を聞いてくれた。初めは緊張していたが、最後の方になると楽しく取り組まれていた。
- 高校生に伝えることで自分の中で改めて作業療法士としての行動や考え方を見つめ直すことができた。

## 「自己評価と他者評価」

谷口 理恵 (大分豊寿苑)



「自分の着たい服」＝「自分に似合う服」

だったらいいですね？

ですが…おおむね両者は一致しないことのほうが多いと思いませんか？

少なくとも私はそうです(笑)

気に入った服を選んで試着してみるとがっかりした、なんてことはよくあることです。友人が選んでくれたもののほうが良く似合ったりします。

これを仕事の場面に置き換えてみると、

「自分の着たい服」⇒「自分がやりたいこと」

「自分に似合う服」⇒「周囲がやってもらいたいと期待していること」

社会人として(作業療法士として)仕事に取り組むなかでこの両者が完全に一致するという人は、そう多くないと思います。

社会活動を行うということは、その活動を必要とする人がいることで成立します。

私たちが作業療法を実践したいからやっているわけではなく、(意識・無意識は問わず)作業療法が必要とされる場面があるからこそ私たちに実践の場があるということが前提です。

作業療法士として対象者に寄り添い支援していくことは、専門性であり得意分野です。同時に所属組織の中で日々の記録や計画書の作成、委員会活動などの業務を遂行することも大切な役割です。

「自分がやりたいこと」に精一杯取り組むことは大切です。と同時に「周囲がやってもらいたいと期待していること」に応える努力をすることも同じように大切なことです。他者評価を過剰に気にする必要はありませんが、他人の目に映る自分を意識してみることは客観的な視点で自分自身を見つめ直すことにつながります。自己評価と他者評価のバランスを保ちつつ、求められる専門職としての姿に近づくことができれば良いと思います。

作業療法士として期待されていることに応えることができますか？

## 認知症アップデート研修会(実践編) 第4回

開催日：令和2年1月18日(土) 15:30~16:30  
 場 所：J:COMホルトホール大分 3階 大会議室  
 内 容：おっていーカフェの開設  
 参加者：10名  
 来場者：50名(会員10名、学生30名、一般10名)

## 第23回大分県作業療法学会

開催日：令和2年1月19日(日) 9:50~17:00  
 場 所：J:COMホルトホール大分 3階 大会議室 他  
 学会長：佐藤 暁(常務理事/井野辺病院)  
 テーマ：「変化 ~新時代を彩る作業療法~」  
 内 容：①特別講演「自分を磨いてなりたいOTに近づけ！」  
         講師：有村 正弘(株式会社OT-Road代表取締役)  
         ②特別講演「良い感じで生きること」  
         講師：岩根 達郎(京都府立洛南病院)  
         ③演題発表：一般演題29題  
                 (口述発表20題、ポスター発表9題)  
 参加者：192名(会員176名、他職種2名、学生13名、一般1名)

## 生活行為向上マネジメント実践者研修Ⅱ

開催日：令和2年2月1日(土) 14:00~17:00  
 場 所：大分県作業療法協会ビル  
 内 容：2019年九州士会会長主催MTDLP研修の伝達講習、  
         グループディスカッション  
 講 師：村上 義樹(ほしの整形外科クリニック)  
 ファシリテーター：大塚 悠貴(黒木記念病院)  
 参加者：4名

## 作業療法実践セミナーⅡ

開催日：令和2年2月2日(日) 10:00~15:00  
 場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス 大会議室  
 テーマ：内部疾患患者を地域で支えるための評価と実践  
 内 容：実践報告、グループディスカッション、意見交換会  
 講 師：真田 康孝(コスモス病院)  
         菅 雅史(湯布院病院)  
         上野 恭輔(諏訪の杜病院)  
 参加者：71名(会員70名、非会員1名)

## 大分中央・大分西支部事例検討会

開催日：令和2年2月7日(金) 19:00~21:00  
 場 所：コンパルホール 4階 視聴覚室  
 内 容：事例検討およびディスカッション  
 事例提供者：菊池 由香理(大分記念病院)  
 参加者：23名(会員19名、他職種4名)

## スポーツ研修会

開催日：令和2年2月27日(木) 19:30~21:30  
 場 所：コンパルホール 302会議室  
 内 容：スポーツを通じて活動と参加を拡大する作業療法実践  
 講 師：福澤 至(障害者支援施設にじ)  
 参加者：10名(会員9名、非会員1名)

令和2年3月以降はCOVID-19の影響により事業は中止または延期となりました。





# 作業療法士は、

そのひとの人生が生き生きとしたものとなるよう、仕事、遊びなどの日常生活のなかでの活動(作業)をとおして、こころとからだを元気にするリハビリテーションの専門職です。



リハビリテーションのことや、作業療法のことなどで分からなかったり、お困りのことがありましたら、右記までご連絡ください。

公益社団法人 大分県作業療法協会  
〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル  
TEL:097-547-8662 FAX:097-547-8663  
<http://www.oita-ot.com>